

平成28年度 第1回 上野原市総合教育会議

議事録

1. 日時及び場所：平成28年9月26日（月）午後2時から
上野原市役所 2階 庁議室

2. 出席者：1 委員
江口市長、和田教育長、
坂本教育委員、白倉教育委員、山下教育委員、
〔欠席〕佐藤教育委員
2 事務局
企画課（小澤、守屋、石井）
教育委員会（尾形、上原、清水）

3. 次第：1 開会

2 市長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 議事
（1）教育振興基本計画の骨子（案）について

5 その他

6 閉会

1 開会

(事務局)

それでは、皆様お揃いですので、第1回上野原市総合教育会議を始めさせていただきますと思います。本日、司会を務めます企画課長の小澤と申します。よろしく願いいたします。開会に先立ちましてご礼を行います。相互に礼。

2 市長あいさつ

(事務局)

まず、始めに市長あいさつ。市長お願いいたします。

(市長)

皆さま、こんにちは。教育委員の皆様におかれましてはご多忙のところ、平成28年度第1回総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

昨年度は教育会議を4回開催させていただき、市の教育大綱の策定に向けた協議を行うとともに、市の教育に対して委員の皆様から忌憚のないご意見をいただき、さまざまな意見交換ができたものと思っております。

さて、市では現在、国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づいた、地方版「総合戦略」や「人口ビジョン」を策定し、雇用の創出や移住・定住の促進を図り、人口減少に歯止めをかけるために、具体的な施策・事業等を進めております。

そのような中で、大型事業として、JR上野原駅周辺の開発、中央自動車道談合坂スマートインターチェンジの整備、総合福祉センターの建設や上野原こども園の整備など、国等の補助事業を積極的に活用した、魅力あるまちづくりに向けた環境基盤の整備を進めているところでございます。

上野原に人の流れを創出するためには、子育て支援や学校教育環境の充実、生涯スポーツの推進については、欠かせない要素であり、「総合戦略」において、教育行政の果たす役割は非常に大きいものと考えております。

上野原市の目指す教育の基本理念は大綱で示した健やかに学び、輝く未来をひらく、心触れ合う上野原のまちづくりであります。これを実現するために教育振興計画の策定が重要となってまいります。教育委員の皆様には策定にあたりご協力をお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

3 教育長あいさつ

(事務局)

続きまして、教育長あいさつ。和田教育長、よろしくお願いいたします。

(和田教育長)

江口市長におかれましては、公務ご多忙のなか総合教育会議を開催していただき、誠にありがとうございます。ご承知の通り教育委員会におきましては、これまで平

成22年10月に教育委員会で決定しました教育目標を踏まえた中で、総合的に教育政策の推進に取り組んできたところであります。しかしながら、今日、教育関係も大きく変化する中で、国におきましても様々な改革が進められてきております。また、いじめや不登校等の問題、生徒の安全対策等、教育に求められるものというのは量的にも質的にも複雑化、困難化しております。こうしたなかで、先ほど市長のご挨拶にもありましたが、総合教育会議での協議を経て本年2月に上野原市教育大綱が策定されたところがございます。これに伴い、現在教育大綱を尊重するなかで新しい課題や、取り組まなければならない課題等を踏まえて、新たに上野原市教育基本計画の策定を進めているところがございます。

本日は、教育振興計画骨子案につきましてご意見いただき、協議していただく中で、地域の教育力の活性化、また、ふるさとで子どもたちを育て、地域の振興創生に繋げていく上野原の教育、こういったものに資する計画の策定に繋げていければと考えています。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局)

ありがとうございました。

4 議事

(事務局)

それでは、4の議事に移ります。議長は、要綱に基づき市長にお願いしたいと思っております。それでは、江口市長お願いいたします。

(議長)

それでは、ただいまより議事を進めて参りたいと思っております。

「上野原市教育振興基本計画骨子(案)について」事務局より説明願います。

【教育振興基本計画骨子(案)について

学校教育課 清水学校総務担当リーダーによる説明】

(議長)

ただいま事務局より「上野原市教育振興基本計画骨子(案)について」説明をいたしました。この教育振興基本計画について、教育委員の方々からご意見をいただきましたと思います。

(議長)

なかなか言いづらいかと思っておりますので、私から口火を切らせていただきます。この基本計画骨子案ですが、目標と施策があり、非常に素晴らしいことが書いてありますが、この上野原市の部分を〇〇市に変えれば、どこの市でも通用するものです。上野原市の特徴はどこにでているか?何もない。それを今から作るのか、上野原市でなければ考えられないような計画を作っていくのか等の意見を教育委員の方々にお伺い

したい。事務局はどのように考えているのか、まず事務局の意見を伺いたいと思います。大目標の中に上野原らしさを出すのか、それとも大目標はこのままで具体的な部分の施策の中に入れる考えでいるのか、お伺いしたい。

(事務局)

市長からお話がありましたが、まさにその通りだと思います。しかし、まだ計画案ですので一般的なことも必要ということで、計画を作らせていただきました。市長のご指摘のとおり「上野原市」を除けば、どこの市町村でも通用するものであると思います。そのようななかで上野原市独自の、上野原市でなければできない計画を作っていきたいと思っております。職員の中でも「何か上野原市の特徴のあるものを」と議論致しておりますが、なかなか見つからないところですので、教育委員の方々にも考えていただいて、こういうものが上野原の強みであるというものをぜひ計画の中に取り入れていきたいと思っております。

(議長)

では教育委員の皆様の見解をお願いします。

(和田教育長)

市長がご指摘されたことについては、6番の上野原市の目指す教育だと思うのですが、7番の目標、施策については6番の理念を達成するために作成するということになると思うので、7番の表現はどこの市町村も同じではないのかということですが、このような形になるのではないかと思います。上野原市の教育ということは、この6番で位置づけていく必要があるのではないかと思います。

(議長)

教育長から意見がありましたが、資料の7番(目標、施策)から6番(目指す教育)へ矢印がでている関係性についてはどうということですか。

(和田教育長)

7番(目標、施策)から6番(目指す教育)へ矢印がでていますが、これは相互に関係している。両方に矢印が必要となると思います。

(議長)

そうすると7番を位置づけるための6番、6番を位置づけるための7番で、6番のこれだけの言葉では上野原市の特徴を表すには簡単すぎるので、目指すべき子どもの具体像を示すために***と表記してあるかと思っております。

7番の部分の目標等に上野原ならではのものがほしいと思いますので、教育委員のご意見を伺いたいと思います。

(山下教育委員)

確かに上野原市の色を取り入れたほうがよいと思う。この基本目標の中で上野原市らしさを取り入れるとなると、地域資源や豊かな自然などになるかと思っております。

個人的には、貧困問題等、これからの課題を取り入れるのもよいかと思っております。

(議長)

貧困の問題については背景の中に含まれているかと思いますが、事務局どうですか。

(事務局)

そのとおりです。

(白倉教育委員)

7番の中の基本目標1・2・3はこのままで、その中の施策をもう少し詰めていったらよいのではないかと思います。

子どもの貧困問題についても、全国的に16パーセントを超え、6人に1人が貧困だと聞いています。

(坂本教育委員)

現在、いじめや不登校、自殺、家族間の残虐な事件、フリースクール、特別支援等、様々な問題が出ています。これは日本の教育制度全体の問題だが、この問題の対応に期待できるのも教育です。家庭環境や、教育環境が激変していて、現在の教育体制がこのような問題に対応しきれないのではないかと思います。最近では指導死など教育現場でも多様な問題が起こっており、そういった背景があり地域独自の発信をしていかなければならないのではないかと思います。枠組を幅広く、変えていく必要があります。地域発信のものを考えていくべきで、学業のみでなく、多方面で活躍できる人物を育てていきたい。

特にお父さんお母さん等に理解できるような、誰にでもわかる言葉で、納得できるものをつくる必要があります。どこの市町村も教育対策を行っているので、枠を超えた発想でいかないとならない。自然の中での教育、心を育てる教育、地域の方々と子どもたちを刺激してくれる方がたくさんいらっしゃると思うので、そういった方々に協力してもらいたいと思います。

(議長)

今おっしゃったことを7番の基本目標、基本施策にはどのように反映させていったらよいと思いますか。

(坂本教育委員)

具体的に基本施策の中でいかすように、検討していければよいと思います。

(和田教育長)

この基本計画で、背景から7番までの全体を通し、1番の計画策定の背景では、計画を作る段階で学校教育の比重が多いです。見直す中で、生涯学習等の社会教育やスポーツの振興を含めて見直していく必要があると感じました。現状と課題の記載がされていないので、そのあたりを見直していきたいと思います。2番について、教育基本法が基本となりますが、市の計画は総合戦略に基づいて計画しているので、この計画も総合戦略に基づいて作成したほうがよいのではないかと思います。3番

の国等の動向について、社会教育関係の国の方針等がありますので、これも踏まえ、4番アンケート調査の結果は重要な素材なので、分析をする必要があると思います。6番7番の関係について、学校教育、社会教育、環境整備の3本柱になっています。上野原市の独自性をどう出していくかという、6番の目標に対する施策を2つ程度出していき、子ども以外はどうなのか考えると、社会を生き抜く力、高齢者の生きがいづくりなどを踏まえて考えていく必要があるかと思います。

(議長)

だいたい意見が出そろいましたが、1番の計画策定の背景について、お二人の委員から貧困家庭・貧困教育について文言として入れたほうが良いという意見がありましたので、こちらは入れてほしいと思いますがよろしいでしょうか。

アンケートについては、いつ頃までにまとめられるでしょうか。

(事務局)

10月下旬頃にはまとめられると思います。

(議長)

7番の部分で上野原市の特色をとということですが、1番は学校教育、2番は社会教育、3番は環境整備ということで、それぞれの項目にはめこむような施策を考えてほしいです。特に3番の環境整備ですが、やはり自然教育・社会資源を打ち出したものが良いのではないかと思います。東京都や近隣市町村の参考事例になるようなものを作り、そうすれば上野原市のオリジナリティが出てくると思います。

(坂本教育委員)

自然と、伝統文化を継承していくような、古いものは活かし、新しいものを伸ばしていくようなものを作っていきたいと思います。

(議長)

その他意見はありますか。なければ今出たような意見を反映させて作っていききたいと思います。

事務局からスケジュールの説明をお願いいたします。

(事務局)

今後のスケジュールの説明ですが、10月、11月に各種団体との意見交換を行います。社会教育委員会、スポーツ推進委員会や校長会等、先ほど話に出た上野原市らしさをだすものについて特に意見聴取を行いたいと思います。11月には議会への説明、1月には企画会議での説明とパブリック・コメントを実施し、3月の総合教育会議を基本計画の策定日とし、4月以降の公表に向けて進めていきたいと思っています。

(議長)

今、事務局よりスケジュールの説明がありましたが何か質問はありますか。その他、何かありますでしょうか。

ないようでしたら、以上をもちまして議長の任を解かせていただきます。

5 その他

(事務局)

江口市長におかれましては議事進行、お疲れ様でした。また教育委員の皆様におかれましては貴重なご意見をありがとうございました。今でました意見をもとに教育計画をたたいていくこととなります。

次第のその他ですが、何かご意見ありますか？

(教育委員)

特になし

6 閉会

それではこれで閉会させていただきます。ご礼をもって散会とさせていただきます。相互に礼。

【散会】

以 上